

livioEdge^{AI^R}

livio^{AI^R}

livio^R

スターキー充電式耳あな型補聴器

取扱説明書



はじめに

この度はスターキー耳あな型補聴器をお選びいただき、誠にありがとうございます。

補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際にご再読ください。

フィッティングサービスの重要性

補聴器はマイクから入力された音を増幅させて出力し、聴力を補う医療機器です。

補聴器は適切なフィッティング調整によりその効果が発揮されます。しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

補聴器は装用者に合わせて調整されています。装用者以外の方のご使用はご遠慮ください。



Apple、Appleロゴ、iPhone®、iPad®およびiPod touch®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

目次

1. 安全にお使いいただくために	4
2. 販売店様へ	7
3. 各部の名称	8
4. 電源の入/切	10
5. 充電について	10
6. 製造番号などの記載事項	11
7. 補聴器を装用するには	12
8. 音量/メモリーを調整するには	13
①音量調節（短押し・長押し）	
②音量調節（ボリュームスプリンクラー）	
③メモリー切り換え	
④ミュート機能	
9. 電話をかける時は	17
●イヤー・トゥ・イヤー（両耳間）機能について	
10. 機器とのペアリングについて	18
11. 補聴器を調整するには	19
12. タップコントロール	20
13. スリープモード	20
14. エッジモード	20
15. 転倒検出通知機能	21
●操作ボタン設定記入表	
16. お知らせ音について	23
17. お手入れをするには	25
●ホワイトワックスガードの交換	
18. マイクカバーを交換するには	28
19. おかしいなと思ったら	29
●補聴器内蔵メモリー設定表	
20. 表示項目等	31
医薬品医療機器法第63条の規定による表示	
保証について	
電波法適合（技適）表示	

1. 安全にお使いいただくために

警告・注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

ご使用の前によくお読みになり、必ず守ってください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

- ◆ 補聴器本体や部品、電池を、幼児や精神的に障害のある方、ペットの手の届かないところに保管・管理してください。
- ◆ 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないでください。
- ◆ 補聴器本体、電池またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意してください。もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師にご相談ください。
- ◆ この補聴器には無線通信機能が搭載されています。ご使用になる場所で電波を発する電子機器の使用が制限されている場合には指示に従ってください。

- ◆ 他の医療機器あるいは除細動器やペースメーカーなどの埋込型医療機器を着用し、補聴器からの電波干渉等に関する懸念がある場合には、医師または医療機器の製造元にご相談ください。また念のために、これらの埋込型医療機器を着用されている方は補聴器を埋込部分から15cm以上離して使用してください。

注意

- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。



- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。また、レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼすため、撮影時には補聴器を外してください。



- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。

- ◆ 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。



- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。

注意

- ◆ 補聴器は再資源化対象ですので、ご不要となった場合はゴミとして捨てず、販売店にお持ちください。
- ◆ 補聴器は常に清潔に保つように使用後の清掃、保管前の清掃をしてください。
- ◆ 次の場合、補聴器を使用しないでください。
 - ・耳を治療中の場合。
 - ・耳の中に痛みがある場合。
 - ・先天的又は外傷による明らかな耳の変形がある場合。
 - ・過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合。
 - ・過去60日以内に急激、又は急速な難聴の進行を生じた経験がある場合。
 - ・過去30日以内に耳鳴りが大きくなった場合。
 - ・急性又は慢性のめまいがある場合。
 - ・耳垢又は異物の集積が明らかな場合。
- ◆ 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
 - ・耳漏が生じたとき。
 - ・耳の治療が必要なとき。
 - ・耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
 - ・耳の皮膚が赤くなったり、痒みや湿疹が生じたとき。
 - ・使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
 - ・補聴器の外観、音質・音量等に異常を感じたとき。
 - ・めまいが生じたとき。

注意

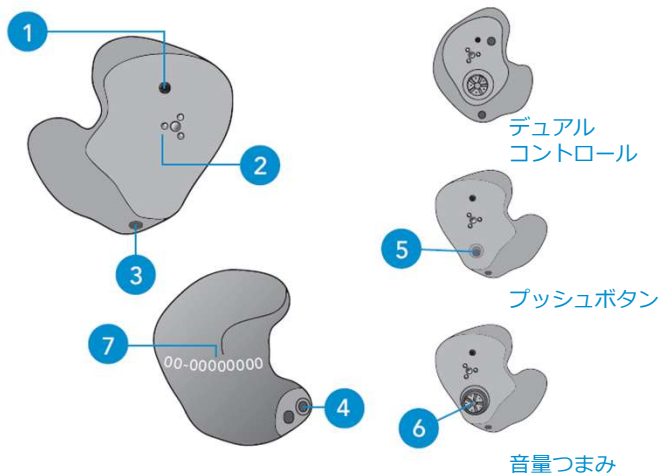
- ◆ 耳の中でホワイトワックスガード等の部品が脱落した場合、販売店又は耳鼻咽喉科の医師にご相談ください。
- ◆ 耳鳴マスカ機能（TRT機能）の使用には医師の処方が必要です。ご使用になる場合、耳鼻咽喉科医師の指示に従ってご使用ください。
- ◆ 耳鳴マスカ機能の使用により、耳鳴りや聞こえが悪化する場合があります。悪化した場合直ちに使用を中止し、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。
- ◆ 補聴器内部を針などのとがったものでつつかないでください。
- ◆ 硬い床の上などに落とすと破損する可能性があります。落とすと壊れやすい場所での補聴器の付け外しをしないでください。
- ◆ その他ご不明な点等がございましたら、販売店までご連絡ください。

2. 販売店様へ

※ AP仕様の補聴器等で132dB SPLを超える音圧レベルでフィッティングする場合、残存聴力を害する危険性があるため、ご注意ください。

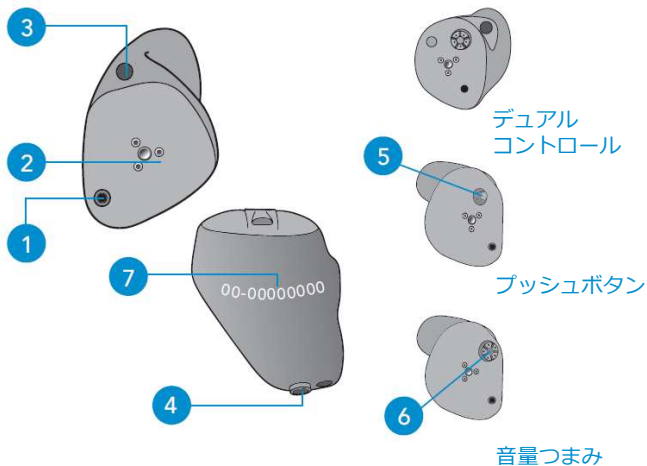
3. 各部の名称

ITE



1. マイク（集音部）
2. 充電用接点
3. 通気孔（ベント）
4. レシーバ孔（出力部）
5. プッシュボタン（オプション）
6. 音量つまみ（オプション）
7. シリアルナンバー

ITC/HS



1. マイク (集音部)
2. 充電用接点
3. 通気孔 (ベント)
4. レシーバ孔 (出力部)
5. プッシュボタン (オプション)
6. 音量つまみ (オプション)
7. シリアルナンバー

4. 電源の入/切

電源入

充電器から外すと電源が入ります。または、手動で電源が切れる設定になっている場合は、プッシュボタンを短押しすると電源が入ります。耳に装着する時間を考慮しているため、補聴器から音が聞こえてくるまで少し時間が掛かります。

電源切

充電器に取り付けると電源が切れます。手動で電源が切れる設定になっている場合は、プッシュボタンを3秒以上押し続けて電源を切ります。長期間使用しない場合は、充電器から外して保管してください。

5. 充電について

補聴器の充電には、専用の充電器（チャージャーケース）を使用してください。詳しくは、チャージャーケース取扱説明書をご覧ください。

- 補聴器を充電器にセットします。マグネットでカチッと止まる位置に装着します。
- 補聴器は自動的にオフになり、充電が始まります。

注：左右の補聴器に対応するLED

- 緑色の点滅=充電中
- 緑色の点灯=フル充電完了
- 赤色の点滅=障害状態 - 充電器から取り外し、LEDが消えるまで待ってから補聴器をセットし直します。障害状態が続く場合は、販売店に連絡してください。



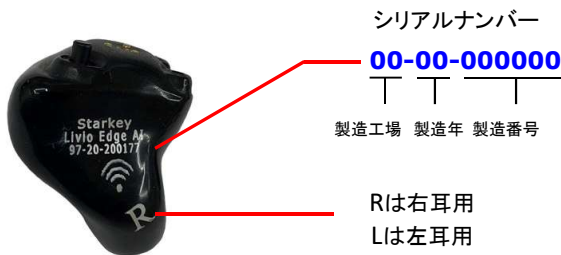
⚠ 注意

- ◆ 充電には必ず専用の充電器を使用してください。
- ◆ 同梱のACアダプターは当社製充電器専用です。他の機器に接続して使わないでください。

- 充電から3時間ほどで補聴器は完全に充電されます。
- 充電器コードを接続せずに充電する場合、補聴器が完全に充電されるとLEDランプは消えます。
- 充電器が接続されていないときにLEDランプをリフレッシュするには、補聴器を充電ポートから3秒間取り外してから充電器に取り付けます（リフレッシュは10秒間だけ続き、その後LEDは再び消えます）。
- 長期間（例：数週間）補聴器を着用しない場合は、充電器からプラグを取り外し、補聴器を充電ポートから取り外します。補聴器の電源を手動で切る必要があります。補聴器は保管箱に入れると安全です。

6. 製造番号などの記載事項

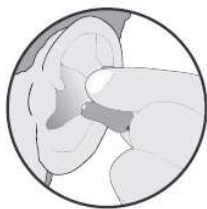
本体表面に記載されたシリアルナンバーは補聴器を調整する際に大切な目印となります。ピンクおよびクリアシェルでは右耳用が赤文字、左耳用が青文字の表示です。黒色シェルの場合は白文字の表示となり、左右の識別のために右耳用はR、左耳用はLの刻印があります(下図)。



7. 補聴器を装用するには

補聴器の装着

1. 補聴器の外側の縁を親指と人差し指でつまむ。
2. 補聴器を少し前方に傾けるようにしながら先端部分を耳道内に軽く押し込み、次に補聴器を後ろ向きに少し回転させる。最後に指先で軽く押して固定させる。



補聴器の取り出し

補聴器を親指と人差し指でつまみ、軽く回転させながら引き抜く。

補聴器にテグスが付いている場合は、テグスをつまんで軽い力で静かに引き出す。

8. 音量／メモリーを調整するには

●ダイヤル式の場合

音を大きくするには



音量つまみを前方に回していくと、音が大きくなります。

音を小さくするには



音量つまみを後方に回していくと、音が小さくなります。

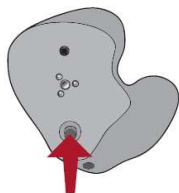
<ハウリングを起こしたときは>

補聴器に手を近づけると、「ピーピー」と音が聞こえることがあります。これは補聴器から出た音が、手のひらで反射したために起こる現象で、ハウリングと呼ばれています。補聴器から手を離せば、音は自然に止まります。

●プッシュボタン式の場合

プッシュボタンを押す長さ(長押し・短押し)によって、音量調節やメモリー変更、ミュートのON/OFFを行います。

※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。



プッシュボタン

<ハウリングを起こしたときは>

補聴器に手を近づけると、「ピーピー」と音が聞こえることがあります。これは補聴器から出た音が、手のひらで反射したために起こる現象で、ハウリングと呼ばれています。補聴器から手を離せば、音は自然に止まります。

・プッシュボタン設定記入表

	音量調節	メモリー変更	ミュート	TRT機能
短押し				
長押し				

①音量調節(短押し・長押し)

大きい



標準



小さい

プッシュボタンを押す時間(長押し・短押し)によって音量の上げ下げを行います。
プッシュボタンを短押しすると音が大きくなり、長押しすると音が小さくなります。

※ 電源を入れた時は、標準の状態です。

※ 長押しで音を大きくし、短押しで音を小さくする設定にすることも可能です。
詳しくは販売店にご相談ください。

②音量調節(ボリュームスプリングラー)

大きい(最大)



やや大きい



標準



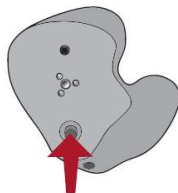
やや小さい



小さい(最小)

プッシュボタンを押すと音が小さくなり、最小になると大きくなります。

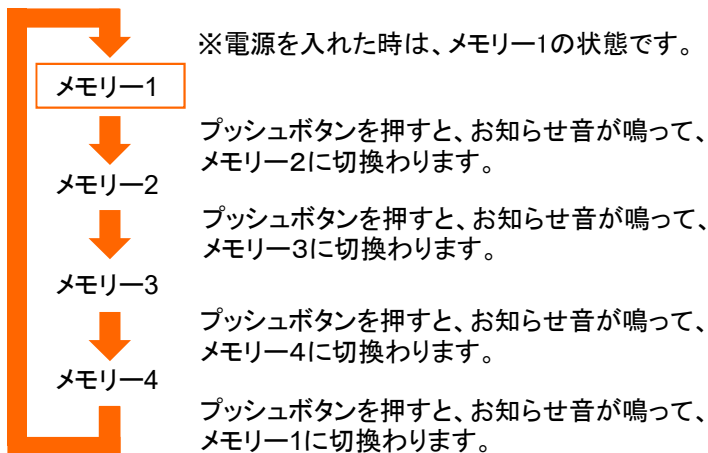
※ 上記とは逆に、プッシュボタンを押すと音が大きくなるような設定にすることも可能です。
詳しくは販売店にご相談ください。



プッシュボタン

③メモリー切換え

プッシュボタンを押して、メモリーの設定切換えを行います。



※メモリー2～4は、無効に設定することができます。

無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。

④ミュート機能

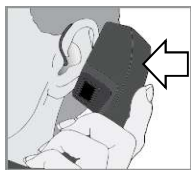
ミュート機能の搭載されている補聴器の場合、プッシュボタンを長押しすることで、補聴器はミュート状態になります。

ミュートを解除する場合、音声が出るまでプッシュボタンを長押ししてください。

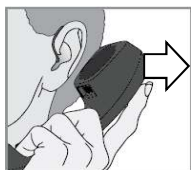
注意

- ◆ プッシュボタンを必要以上に強く押すと、破損することがあります。

9. 電話をかける時は



受話器を補聴器に近づけると、電話用のメモリーに自動的に切り換えることができます。



受話器を補聴器から離すと、通常のメモリーに戻ります。

※詳しくは販売店にご相談ください。

● イヤードゥイヤード（両耳間）機能について

（Livio Edge AIのほか2400、2000、1600の器種で対応）

Livioシリーズには、両耳で電話の音声を聞くことができるイヤードゥイヤード機能が搭載されています（iPhoneや専用アクセサリと連動している場合のみ使用可能）。詳しくは、販売店にご相談ください。

! 注意

- ◆ コードレス電話、または携帯電話の種類によって機能しない場合があります。

10. 機器とのペアリングについて

補聴器のBluetooth接続を利用して、スマートフォンや付属アクセサリーと連動することで、補聴器へ音声を直接的に流すことができます。これらの機器と連動するには、「ペアリング」という読み込み作業が必要になります。

◆ スマートフォン

補聴器の電源を入れると、スマートフォンに掛かってきた電話の音声を補聴器に流すことができます。補聴器とのペアリングについて詳しくは、別紙の「LivioAI/Livio補聴器をiOS端末/Android端末で操作するには」をご覧ください。

- **iPhone:** 「設定」→「アクセシビリティ」→「ヒアリングデバイス」に進むと、数秒後に一番上の項目に、補聴器名が表示されます。補聴器名をタップするとペアリングの要求メッセージが表示され、「ペアリング」をタップすると、iPhoneと連動できるようになります。
- **アンドロイド端末:** Thriveアプリを直接立ち上げて、アプリから補聴器とのペアリングを行います。一部の対応機種以外は、音声ストリーミングにリモートマイク+（別売）が必要になります。

◆ リモコン

音量調節やメモリー切り換えなどリモコンから遠隔操作が可能になります。詳しくは、リモコン取扱説明書をご覧ください。

◆ テレビ

TVストリーマーとペアリングして、テレビの音声を補聴器へワイヤレスで流すことができます。ご家族や身近なお友達と一緒にテレビを楽しめるようになります。詳しくは、TVストリーマー取扱説明書をご覧ください。

◆ Bluetooth機器、FM補聴システム、ヒアリングループシステム

リモートマイク+とペアリングすることで、これらの機器からの音声や音楽をワイヤレスで楽しむことができます。詳しくは、リモートマイク+取扱説明書をご覧ください。

11. 補聴器を調整するには

補聴器の音量調節・メモリー変更は、Livio AI/Livioシリーズ専用のThrive ヒアリング・コントロール アプリを使用しています。詳しくは、別冊の「Thriveヒアリング・コントロールアプリ簡易ガイド」またはホームページ <https://www.starkeyjp.com/hearing-apps> をご覧ください。



※ 別売のthriveリモコンもご利用いただけます。



アプリのアイコン



iOS画面例

12. タップコントロール (Livio Edge AI / Livio AI)

Livio Edge AI / Livio AI補聴器では、ダブルタップ（耳を2回タップ）して補聴器に内蔵されたセンサーを反応させることで、アクセサリからストリーミングを開始／停止させたり、アプリのアシスタント機能を立ち上げることができます。この機能をご利用になりたい場合は、販売店に設定していただく必要があります。タップコントロールなど補聴器の操作方法の確認に、22ページの「操作ボタン設定記入表」をご利用ください。



13. スリープモード (Livio Edge AI / Livio AI)

補聴器をテーブルなどの平らな場所に15分以上置いたままにしておくと、補聴器に内蔵されたセンサーが働き、自動的に補聴器をスリープモード（休止した状態）にさせることができます。補聴器を再び耳に装着すると、スリープモードが解除されて作動し始めます。この機能を利用されたい場合は、販売店に設定していただく、またはThriveアプリからも設定することができます。

14. エッジモード (Livio Edge AI のみ対応)

Livio Edge AI補聴器は、騒音のために聞き取りが難しい環境下で補聴器の設定を最適化する機能を搭載しています。この機能はダブルタップまたはプッシュボタンの短押しで発動します。補聴器は周囲の音響環境をサンプリングし、内蔵された人工知能AIがその環境で最良の語音理解度が得られるように、補聴器を瞬時に自動設定します。

15. 転倒検出通知機能

(Livio Edge AI のみ対応)

転倒検出通知機能とは、何らかの原因により転倒して助けを呼びたいとき、またはご自身の居場所を知らせたいときなど、連絡を取りたい相手のスマートフォンにショートメッセージで通知する機能です。通知は、転倒が検出された時の自動送信と、補聴器の操作ボタンを長押しして通知する手動送信があります。手動送信では、操作ボタンを再度長押しすることで、通知をキャンセルすることもできます。転倒検出通知が機能する時は、補聴器からお知らせ音が再生されます。

以下の場合、お知らせ音が再生されます。

- ・ 転倒が自動検出された場合
- ・ 転倒通知が手動送信された場合
- ・ 少なくとも通知先の1人が転倒通知を受信した場合
- ・ 補聴器の操作ボタンから通知をキャンセルした場合
- ・ 転倒通知の送信中に生じた通信障害
- ・ 転倒通知のキャンセル中に生じた通信障害

補聴器で再生されるお知らせ音は以下の通りです。

転倒通知の状況	お知らせ音
通知メッセージが通知先へ送信される時	「通知します」
通知メッセージが通知先に受信された時	「送信されました」
通知がキャンセルされた時	「通知をキャンセルします」
通知が通信障害で送信されない時	ビビビ、ビビビ（ビーブ音）

* 本機能を使用されるには、スマートフォンにThriveアプリをダウンロードし、通知の送信先などの設定が必要になります。詳しい設定方法は別冊の「Thriveヒアリング・コントロールアプリ簡易ガイド」をご覧ください。

操作ボタン設定記入表

	短押し	長押し	*ダブルタップ
音量調節			
メモリーの変更			
ミュート			
電源オフ			
TRT機能** (耳鳴治療音)			
アクセサリーの 作動/停止			
アクセサリーの 音量			
転倒通知*			
AIアシスタント*			
エッジモード*			

*器種によって対応していない場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

**TRT機能（耳鳴治療音）の使用に関しては、必ず耳鼻科医師の診断が必要です。

16. お知らせ音について

バッテリー充電時期、メモリー切換えなど、補聴器の状態を音声（日本語 / 外国語、男声 / 女声）、チャイム、または電子音（ビープ音）でお知らせすることができます。

メモリー変更の音声でのお知らせ音など、詳しい設定については販売店にご相談ください。

お知らせの内容	日本語 (男声 / 女声)	ビープ音
充電 補聴器を充電してください	ポンポン、電池	パンピンポンパン (チャイム音)
電源オン 電源が入りました	ピンポンパンポン、 チャン (チャイム音)	ポーンポーンポーン
メモリーの変更 イチ（二、サン、ヨン）のメモリーに切替わります	メモリー名（ヒョウジュン、 レストランなど）、 番号（イチなど）	ポン（ポンポン、ポン ポンポン、ポンポン ポン）
ストリームブースト ストリーミング用メモリーに切り替わります	※ビープ音と共通	チャン
コンフォートブースト* 騒音抑制が一時的に有効になります	※ビープ音と共通	タカタカタン
カスタムメモリー*	※ビープ音と共通	トコトコトン
電話 電話メモリーに切替わります (オートマチックホン)	電話（デンワ）、 携帯電話（ケイタイデン ワ）	タタタタン

*ご使用の際には、Thriveアプリの設定が必要です。

お知らせの内容	日本語 (男声 / 女声)	ビーブ音
最大音量	※ビーブ音と共通	ピッピッピッピッピッ (5回)
音量を上げる (ステップ)	※ビーブ音と共通	ピッ
電源入時の音量位置 (標準)	※ビーブ音と共通	ピッピッピッ (3回)
音量を下げる (ステップ)	※ビーブ音と共通	ピッ
最小音量	※ビーブ音と共通	ピー
ミュート (消音)	※ビーブ音と共通	ポロロロ
耳鳴治療音の音量調節*	※ビーブ音と共通	補聴器音量と同じ
アクセサリーの音量調節*	※ビーブ音と共通	補聴器音量と同じ
ストリーミングの開始 アクセサリーと接続されている 時に有効	※ビーブ音と共通	チャン
ストリーミングの停止 アクセサリーと接続されている 時に有効	※ビーブ音と共通	ピーパー
通信障害 対応器種のみ	※ビーブ音と共通	ビビビ、ビビビ

17. お手入れをするには

- 補聴器の表面は、乾いた柔らかい布等で拭いてください。
- レシーバ孔、音量つまみなど、耳垢やホコリのたまりやすい部分は、専用ブラシもしくは歯ブラシで時々掃除をしてください。ブラシをかける時はあまり力を入れず、耳垢やほこりが補聴器内部に入らないように、ブラシを上向きにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは、乾燥ケースに入れて安全な場所に保管してください。
- 補聴器本体は、カビ等が生えないように常に清潔に保ってください。



●ホワイトワックスガード（耳垢防止）の交換



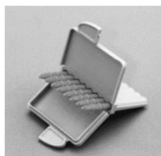
※ホワイトワックスガード(ワックスガード標準品)はお客様による交換が可能です。
左写真と形状が異なるワックスガードの場合は、販売店にご相談ください。



ホワイトワックスガード(耳垢防止)

※先端が金属のメッシュになっています。音が聞こえない・音が小さいなどの場合には、耳垢によって目詰まりをしている可能性がありますので、修理に出す前にホワイトワックスガードを交換してください。

① 交換用キットのがま口部分を開け、棒を1本取り出します



交換用キットには8本入っています。

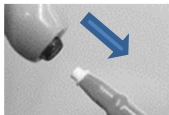


② 補聴器についているホワイトワックスガードに、棒を軽く押しこみます



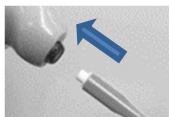
棒の取り外し側(新しいホワイトワックスガードが付いていない方)を補聴器のレシーバ孔(今付いているホワイトワックスガード)に軽く押しこみます。

③ 棒をまっすぐ引き抜きます



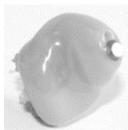
今付いている古いホワイトワックスガードと一緒に取れます。

④ 棒の反対側についている新しいワックスガードをまっすぐ差し込みます



奥までしっかり差し込んで棒をゆっくり引き抜くと、新しいワックスガードが補聴器に装着されます。

⑤ 完成です



取り外したホワイトワックスガードは、棒と一緒に廃棄してください。

※棒は再利用できませんので、使用后廃棄してください。

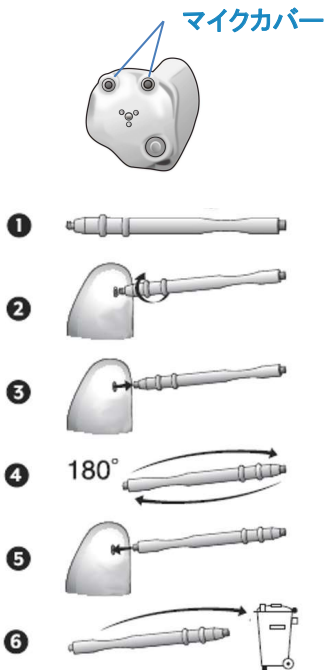
※ホワイトワックスガードと棒、交換用キットのケースはプラスチックを主体としています。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。

注意

- ◆ ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますのでご注意ください。

18. マイクカバーを交換するには

マイクカバーは、耳垢やほこり等の異物からマイクを保護します。
取り付け方法・取り外し方法は下記の絵をご参照ください。



注意

- ◆ マイクカバーは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますのでご注意ください。

19. おかしいなと思ったら

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなどおかしいなと思ったら、修理に出す前に以下の内容をご確認下さい。また、Thriveアプリをご利用されている方は、補聴器の「セルフチェック」もお試ください。

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○バッテリー残量不足	○補聴器を充電してください。
	●レシーバー孔の目詰まり	●レシーバー孔を掃除してください。 ●ホワイトワックスガードを使用している場合は、交換してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
ピーピー音がする	●補聴器が正しく装用されていない	●取扱説明書の「6. 補聴器を装用するには」をご覧ください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
音が小さい	●バッテリー残量不足	●補聴器を充電してください。
	○レシーバー孔の目詰まり	○レシーバー孔を掃除してください。
	●マイク開口部の目詰まり	●マイク開口部を掃除してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	対処法
音がとぎれる	● バッテリー残量不足	● 補聴器を充電してください。
	○ 機械的な故障	○ 販売店にご相談ください。
充電ができない	● 充電器への装着不良、 接触不良	● 補聴器を充電ポートに正しく設置してください。 ● 充電用接触面が汚れていたら清掃してください。
	● 機械的な故障	● 販売店にご相談ください。

補聴器内蔵メモリー設定表

補聴器内に設定されたメモリーについてご記入ください。

順番	使用環境 (例：会議のとき)	お知らせ音 (例：ミーティング)
1		
2		
3		
4		

20. 表示項目等

医薬品医療機器等法第63条の規定による表示

製造販売業者名：スターキージャパン株式会社
住所：神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23
一般的名称：耳あな型補聴器
販売名：スターキー耳あな型3
区別：管理医療機器
製造番号：製品本体
認証番号：302ADBZX00041000

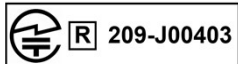
保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただけますようお願い致します。

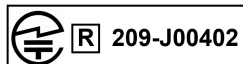
また、保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、無くさないよう大切に保管いただきますようお願い致します。

電波法適合（技適）表示



左耳用



右耳用

スターキージャパン株式会社
 0120-045-190



www.starkeyjp.com

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23
第2種医療機器製造販売業許可番号: 14B2X00027
医療機器認証番号 スターキー耳あな型3 302ADBZX00041000

BKLT0088-00-JJ-JP JPYBK-088



MD84856/ISO13485